

顔の見える木材での快適空間づくり事業

事業実施主体

コイヤ協議会

実施体制・連携グループ

【木材供給・製品製造】

・(株)ハルキ(函館)・栃木ダボ製作所(鹿沼)・株式会社川上木材(宮崎)

【製品デザイン・マーケティング】

・パワープレイス株式会社・(株)STUDIO KAZ・TORINOKO

【木材以外の材の供給】

・和信化学工業 ・(株)カネコアルトップ ・鹿沼Wood Infill LLP

【事務局】NPO法人 宮崎文化本舗

【テーマ】国産材組み立て式家具のブランド化

背景と目的

【背景】・森と地域と都市の繋がりが薄れてきている。

・今後の人口減少により木材需要の縮小が懸念される。

【目的】

・地域の豊かな素材、人、技術、暮らしとデザイン、流通、販売...産地からエンドユーザーを繋げる新たなサプライチェーンの仕組みを作る。

対象とするA材丸太を原材料とする付加価値の高い木材製品

○ ユーザー自ら組立が出来る、細かい寸法変更に対応できるなど、今までにないニーズに応えるDIY家具。

○ 原材料供給業者が一般ユーザーへ直販することで、中間マージンを省くことができ、一般ユーザーは安価に購入ができる。

○ 日本各地の原材料供給業者が連携し、共通のデザインで地産地消の家具の素材を提供することで国産材の家具としてのブランド化を目指す。

写真・図等

キッチン(左)ベッド(右)等試作品は完成済



事業内容(利用拡大に向けた具体的な実施項目)

連携体制構築のための検討会

連携体制の構築及び流通に関するコスト試算、最終デザインや供給体制について、また製品発表会での役割分担やイベント内容の検討等の検討会を月1~2回で全5程度、東京及び各地域拠点にて行います。

最終デザイン・実施設計

現状のデザインのブラッシュアップ及び詳細な図面作成等を行います。

安全基準の策定・普及啓発

本協議会独自の安全基準を策定します。この基準を、カタログ及びECサイトを備えたWEBページを作成、安全基準を掲載すると共に製品発表会等で告知していくことで「コイヤ」のコンセプトを普及します。

製品発表会関連(普及イベント)

国内で開催される大規模な展示会の出展及び本協議会主催の展示会の開催(年度内2回程度)、今回開発した家具の製作DIY教室や、各地域の人工林や木材加工等を知ってもらうためのパネル展示、商品のLCAなどのパネル展示、各担当別に木育ワークショップ等を行います。

⑥ 報告書作成

本事業の内容をまとめた報告書を作成します。

スケジュール

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

検討会開催 ●
安全検査・安全基準策定

パンフ等作成

展示会出展 ●

報告書提出 ●